

コップロケットをとばそう

黒部市立清明中学校 新村 宏樹

● どんな工作・実験なの？

普段の生活で、輪ゴムを使うことは多くあります。輪ゴムは伸びたり縮んだりするので、袋を閉じたり、工作の材料として使ったりしたことがあるでしょう。輪ゴムと紙コップを使ったロケットをつかって、高くとばしてみましよう。

● 用意するもの

輪ゴム、紙コップ、絶縁テープ

● 工作・実験のしかたとコツ

① コップロケットをつくりましよう。

紙コップの飲み口に8ヶ所の切れ目を入れ、そこに2本の輪ゴムをかけて、コップロケットをつくります（図1）。もう1つの紙コップを発射台にして、その上にコップロケットを重ね、輪ゴムを伸ばしてから手をはなすと、コップロケットがとび出まします（図2）。

② コップロケットを改良してみましよう。

輪ゴムの本数や大きさ、輪ゴムを伸ばす長さを変えまると、コップロケットのとび方はどうなるでしょう。また、発射台の紙コップの飲み口に絶縁テープを巻いてみると、コップロケットがとび出ますまでの時間はどうかになるでしょう。絵や文字をかいてオリジナルのコップロケットに改良してみましよう。

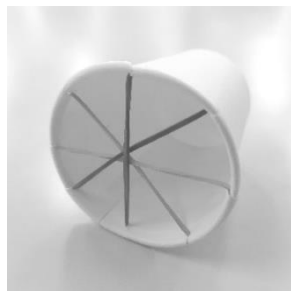


図1



図2

● 気をつけよう

コップロケットをとばすときは、まわりの人に当たらないように注意しましよう。

● もっとくわしく知るために

藤島昭 監修／公益財団法人東京応化科学技術振興財団 編：「開け！科学の扉⑤ 幼児のための科学プログラム」学研プラス（2018）

月僧秀弥 著：「小学校理科・生活科授業で使える科学あそび 60」明治図書（2020）

紙コップを使ったロケットの工作については、様々なウェブサイトに掲載されています。例として、岐阜県先端科学技術センター（サイエンスワールド）による「びっくりロケットコップ」を検索してください。